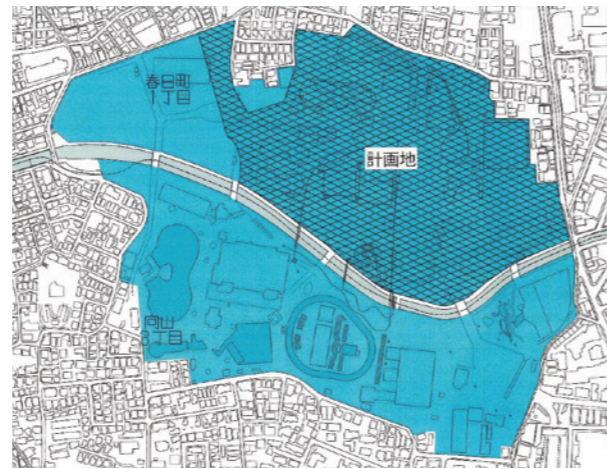


## 「としまえん」跡地活用 いったん立ち止まれ

「自然環境をまもれ」「プールを残してほしい」——。としまえん閉園にともなう住民らの声は、意見集約や説明責任をほとんど果たしてこなかった東京都や事業者に対する、つよい批判となって表れています。

とりわけ問題になっているのが防災の観点。同跡地は6万人以上が災害時に身を寄せる都の避難場所ですが、そのうちの半分かきの敷地が今後30年にわたって米企業ワーカーらに貸し出すことに…。しかし都は代替地を示さず、十分な説明も行われていません。

私たちは、住民のいのちを後回しにして民活部分だけが先行するやり方を批判し、事業をいったん立ち止まって計画を検証するよう求めています。



スタジオツアーの計画地（資料は事業主らによる概要）

## 住民合意ない計画を決めていいのか

石神井公園駅の南側について区と区民が9年かけ話し合い、35m以上の建物の建設を認めない都市計画を決めました。ところが再開発計画を進めるため、区は100mの高層ビルの建設を可とする都市計画に変更することを決め、これに反対する陳情が4本2256名分の署名が区議会に出されていました。

さらに公園通り商店街の道路拡幅について、区は拡幅した土地を買い取ると約束をしていましたが、これを反故にする都市計画変更を同時に行おうとしたため、対象となる多くの商店街が計画変更は認めないとした要望書を区に提出しました。

今議会で陳情の審議がされましたが、計画の中止を求める陳情は、自民、公明、未来、都民ファなどの反対で否決され、高層ビルの建設等を認める都市計画案が決定されました。

今後、コロナ対応でどれだけの予算が必要になるかわかりません。合意のない不要不急の事業は後回しにし、区民の命・くらしを守る予算を最優先すべきです。



北側からみた石神井公園駅南側再開発地域の予想図



**小松あゆみ**  
文教児童青少年委員会  
都市農業・みどり環境等特別委員会  
緑化委員会



**のむら説**  
保健福祉委員会  
交通対策等特別委員会  
情報公開および  
個人情報保護運営審議会



**有馬豊**  
副幹事長 区民生活委員会  
議会運営委員会  
医療・病院整備等特別委員会  
都市計画審議会  
土地開発公社評議員会



**島田拓**  
幹事長 企画総務委員会  
議会運営委員会  
総合・災害対策等特別委員会  
財産価格審議会  
練馬光が丘病院運営連絡協議会



**坂尻まさゆき**  
団長 都市整備委員会  
医療・病院整備等特別委員会  
国民健康保険運営協議会  
土地開発公社評議員会

暮らしに  
希望を

HOPE



2020年11・12月号  
日本共産党練馬区議団NEWS



向山庭園

みなさん、こんにちは。日本共産党練馬区議団です。

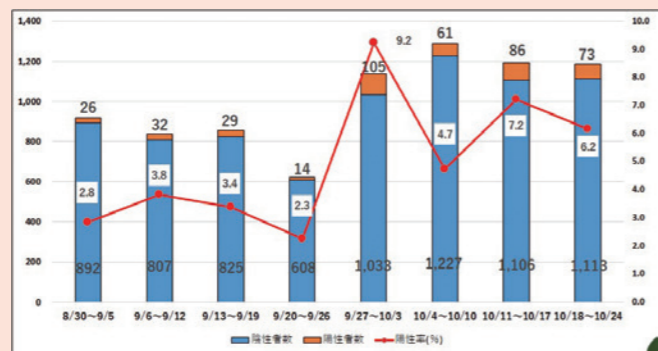
今回の区議会は、9月11日から10月16日の36日間にわたって行われ、8月に決定した補正予算の承認、新たに編成された9月の補正予算の審議と合わせ、昨年度の決算を審議しました。

決算では、予算要望等で寄せられた区民の声をできるだけ取り上げ、来年度の予算に反映させるよう求めました。なお区民への直接の影響はありませんでしたが、後期高齢者医療会計において会計上のミスが明らかとなり、誤りのある決算が議会に提出されました。



## みなさんの声を力に実現しました

- 感染リスクの高い**介護**や**障がい者**、**保育施設**で働く職員への**特別手当**の支給
- 区内の4つの**病院**への約7億円の**財政支援**
- **PCR検査**検体採取センターの設置と**PCR検査数・陽性率**の公表
- **保健所**の人員体制の**強化**
- 水災害時の**避難所**における**段ボール間仕切り**の備蓄
- **住居確保給付金**だけでは家賃を**賄いきれない受給者**への**生活再建支援給付金**の支給
- **ひとり親世帯**へ**5万円**を支給する臨時特別給付金の実施



PCRの検査数と陽性率（区 HP より）

## 補聴器補助について 区が検討すると答弁

これまで加齢性難聴に対する支援、とくに高額となる補聴器への補助を実施するよう繰り返し求めてきました。こうした中で区の介護保険運営協議会で、加齢性難聴への支援を検討することを求める答申のたたき台が示されました。

この結果を受け、あらためて補助制度を創設するよう求めたところ、区は検討すると答えました。高齢者の聞こえのバリアフリーを実現し、いきいきと暮らせる社会を実現するために引き続き力を尽くします。



一般質問に立つむら区議

## 双子、三つ子家庭への支援強化を



双子、三つ子を育てる多胎児家庭の子育てはひととき大変です。そうしたことから、区に対し、出産の前から公的支援や相談窓口などの情報提供を行なうこと、産後は外出も難しいことからヘルパーによる外出支援に加えタクシー券の配布など求めました。また、ミルクやおむつなど費用負担も重いため、経済面での支援も提案。区は、国や都の補助金の活用を含め、充実を検討すると答えています。

保護者や経験者同士の交流会など、精神面でのサポート体制も充実させ、孤立させない取り組みを要望しました。

## 支援を必要とするすべての事業者への支援を



上半期の企業倒産は全国で4000件を超え、コロナ禍と消費税増税による影響は深刻です。国の「持続化給付金」や「家賃支援給付金」も申請の対象外だったり、給付も1回のみとまだまだ不十分です。

これに対し支援を必要としているすべての事業者が利用できるような制度への改善や再給付を国や都に求める事、独自の上乗せや対象外となっている事業者への直接支援を求めました。

区は、感染対策と事業継続のための専門家による出張相談などの支援は行いますが、制度の改善などを国等に求める考えはないとしています。しかし、営業を守るためには思い切った手立てが必要です。引き続き支援充実に力を尽くします。

## 子どもたちの心と体を守る少人数学級早く

学校休業後、土曜授業が増え、行事が中止となった時間までも授業に振り替えています。これで遊びと休息をバランスよく保障できるのか？やはり一人ひとりに丁寧に寄り添える体制、詰め込みではない柔軟な教育が必要で、感染症対策としても少人数学級が求められます。

学校再開直後の分散登校の経験では、現場からは「生徒みんなが落ち着いてトラブルもなく穏やか」「少人数となり目が行き届いてよい」といった声がかかりました。しかし、区は、少人数学級のための教員の増員について国や都任せの態度です。

一人ひとりの学びの保障、子どもたちの心と体を守るため少人数学級を実現するよう国や都に積極的に働き掛け、独自に少人数学級に取り組んでほしいと求めました。



一般質問に立つ小松区議

## お金で政治をゆがめることは許されない



練馬選出の衆議院議員が、有権者にカニやメロンを配ったり、秘書が香典を届けたとして、公職選挙法違反と認定されました。区民の中には、「買った票で当選した議員は、議員として認められない」と怒りが渦巻いています。

私たちは昨年、こうした買収への認識を区に問いましたが、「仮定のご質問には、お答えのしようがない」との答弁でした。今回、本人が事実と認めたことを受け、区にあらためて問いましたが、「答える立場にない」との答えでした。

「買収」は罰則付きで違反となる重大な行為であり、長年にわたって見過ごしてきた区の責任は重大です。